|  |
| --- |
| 三田社会学会2018年度大会プログラム  日時：**7月7日（土）　12：50～18：00**  会場：慶應義塾大学三田キャンパス　北館3階大会議室  受付：12：00より（大会参加費はございません。受付にて本年度会費を申し受けます。）  共催：三田哲学会  ■**総会**　12：50～13：00    ■**自由報告**　13：00～14：40（報告15分　質疑応答10分）  司会：有末賢（亜細亜大学）  報告者： 13:00-13:25　王暁音（慶應義塾大学大学院社会学研究科）  「滞日中国人のトランスナショナリズム―高学歴人材の移動と移住―」  13:25-13:50　中村香住（慶應義塾大学大学院社会学研究科）  「新しい時代の「性の商品化」論に向けて」  13:50-14:15　阪本博志（宮崎公立大学人文学部）  「大宅壮一とそのルポルタージュに関する考察」  14:15-14:40　寺田好秀（公益財団法人東京財団政策研究所）  「理系出身者と文系出身者間の健康格差―Blinder-Oaxaca分解法による要因分解―」  ■**休憩**　14：40～15：00  ■**シンポジウム**「文学社会学」の可能性　15：00～18：00  司会：鈴木智之（法政大学）  報告者：  清水学（神戸女学院大学）  「蔵書を整理する―「社会の詩学」の立場から―」  松下優一（神奈川工科大学他）  「カルチュラルスタディーズか、文学社会学か―「〈沖縄文学〉の社会学」を振り返って―」  マルクス・ヨッホ（Markus Joch）（慶應義塾大学）  “How to gain symbolic capital by provocation and internationalization：  Hans Magnus Enzensberger as an example”  討論者：小倉孝誠（慶應義塾大学）  近森高明（慶應義塾大学） |
| 懇親会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18 ：30～20：30  会場：大連  会費：一般会員　5,000円、院生会員　3,000円　(当日受付で申し受けます。) |